

3M Science.
Applied to Life.™

3M™ マルチポア™ 高通気性撥水テープ EX

3M™ Multipore™ Elastic Cloth Adhesive Tape



貼付中の皮膚の「浸軟」「つっぱり感」 固定の「ゆるみ」「剥がれ」のリスクを

肌へのやさしさ

スキントラブルの原因となる皮膚の「浸軟」を抑え、かぶれの原因となる貼付中の「機械的刺激」と「つっぱり感」を軽減します。



剥がす際の皮膚への影響（赤み等）も低減します。



弊社従来品の約7倍*の高水蒸気透過性

粘着剤を網目状に塗布することで、
貼付中の高い通気性と水蒸気透過性を実現しました。

水蒸気透過性の比較

(社内試験による)



試験方法

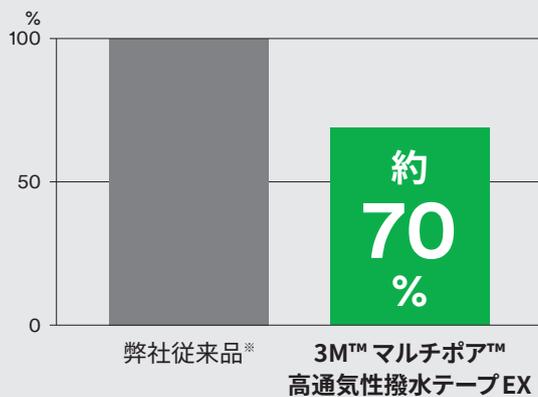
JIS L 1099 (繊維製品の透湿度試験方法) A-2.
ウォーター法に準拠 (N=3)

皮膚への高い追従性

薄い基材で弱い力でも良く伸びるので
貼付中の皮膚の細かい動きに追従します。

伸長させるために必要な力の比較

(社内試験による)



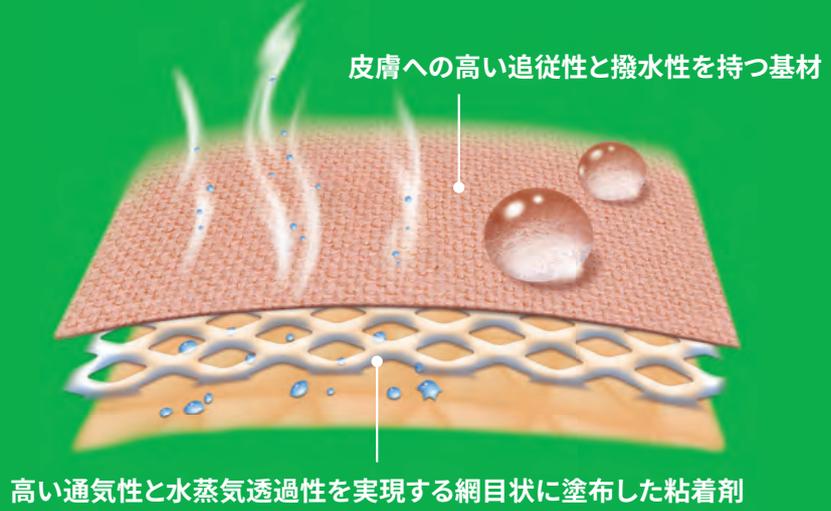
試験方法

長さ10cmのテープを1cm伸長させた時に必要な力を比較 (N=3)

*弊社従来品は3M™ マルチポア™ 粘着性綿布伸縮包帯



を抑え、 低減します。



↓ しっかり固定

外部からの水分をはじくので、固定の「ゆるみ」「剥がれ」のリスクを低減します。

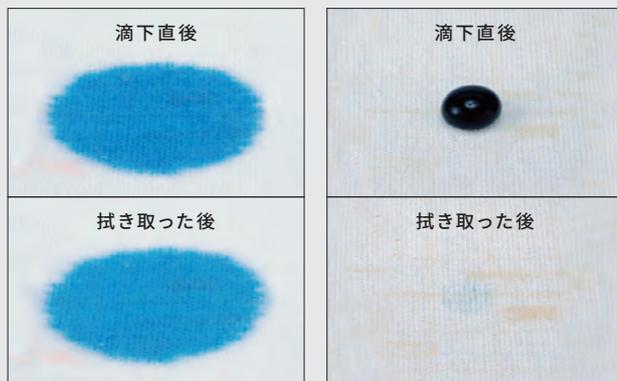


末梢静脈カテーテルのルートやドレーン固定に（濡れてしまった場合は水分を吸い取ってください）。

外部からの水分に対する撥水性

基材には、外部からの水分をはじく撥水加工が施されています。

撥水性の比較

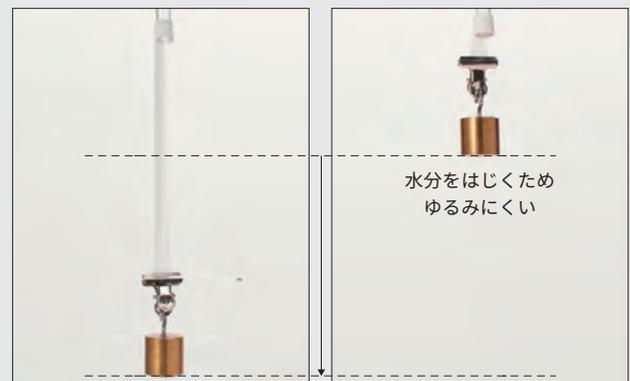


弊社従来品*

3M™ マルチポア™
高通気性撥水テープ EX

水に浸した後のゆるみにくさの比較

(挿管チューブ固定のゆるみを想定した試験)



試験方法

長さ15cmのテープをチューブに巻きつけた後、
水に浸し、100gの荷重をかけた時の比較



基材：伸縮性綿布 粘着剤：アクリル系

製品番号	テープ幅×全長	カラー	入れ目 巻/箱
	mm×m		
4733-12.5	12.5 × 5	ライトブラウン	36
4733-25	25 × 5		24
4733-37.5	37.5 × 5		12
4733-50	50 × 5		6
4733-75	75 × 5		
4733-100	100 × 5		



基材：伸縮性綿布 粘着剤：アクリル系

製品番号	テープ幅×全長	カラー	入れ目 巻/箱
	mm×m		
4730-12.5	12.5 × 5	ホホワイト	36
4730-25	25 × 5		24
4730-37.5	37.5 × 5		12
4730-50	50 × 5		6
4730-75	75 × 5		
4730-100	100 × 5		



個包装パック

製品番号	テープ幅×全長	入れ目 巻/箱
	mm×m	
4750-25	25 × 5	2
4750-50	50 × 5	1

ライトブラウン 個包装パック

製品番号	テープ幅×全長	入れ目 巻/箱
	mm×m	
4753-25	25 × 5	2
4753-50	50 × 5	1

ライトブラウン 個包装パッケージ

製品番号	テープ幅×全長	入れ目 巻/箱
	mm×m	
4733EP-25	25 × 2	1

価格は税抜です。

テープを正しくお使い頂くためのポイント

貼り方

- テープを貼る前には皮膚を清潔にし、薬液等を完全に乾燥させた状態にします。
- テープをくり返し同じところに使う場合、または、かぶれやすい方は、皮膚剥膜剤、自着性伸縮包帯の使用をおすすめします。
- 伸縮性テープを貼るときは、引っ張らず貼るようにします。

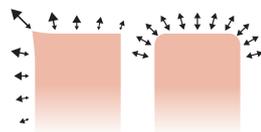


剥離紙の剥がし方

剥離紙が付いたままの状態では切れ目を入れて左右に引っ張ると剥離紙が“パツン”と縦にキレイに割れます。そこをきっかけに剥離紙を剥がしてください。

端を丸く切ると剥がれにくいです。

テープの端を丸く切ると、端からテープが浮きにくくなります。



剥がし方

本品を剥がす場合は、皮膚の負担を軽くするため、テープを約180度に折り返し、皮膚が持ち上がらないように手で押えながら、体毛の方向に逆らわずゆっくりと剥がしてください。



注意事項

貼付前

- 本品はISO-10993に従った生物学的安全性評価済み※のアクリル系粘着剤を使用しておりますが、粘着性製品により皮膚トラブルを起こしやすい方や、アレルギー体質の方は事前に医師にご相談ください。

貼付時

- 本製品は未滅菌です。創部、穿孔部などの無菌手技が必要とされる部位や皮膚に異常のある部位に直接貼らないでください。
- 強い固定力が必要な用途では、テープが粘着する面積を大きくしたり、予め粘着力の高い別の製品をご使用いただくなど十分ご注意ください。
- テープを貼る前に、皮膚を清潔にし、消毒薬などの液体は完全に乾かしてください。
- 皮膚やカテーテル類の表面に油分や水分があるとつきにくい場合があります。
- 皮膚の状態や器具類の材質によってはつきにくい場合があります。特にシリコン素材、フッ素系樹脂の表面にはほとんど粘着しませんのでご注意ください。
- 初期の粘着力を上げるために皮膚に貼るとき、及びテープ同士を重ねる場合は上からよく押さえて十分に密着させてください。
- 同一箇所への繰り返し貼付は皮膚にダメージを蓄積させることがあります。
- 臨床上必要な場合以外はテープや皮膚をひっぱらずに貼り、上からよく押さえてしっかりと圧着してください。

貼付中

- 動きのある部位への貼付や圧迫固定用途では、使用中に皮膚が引っ張られることにより、発赤や水疱など皮膚トラブルを起こす場合があります。
- 製品によって、伸縮する方向や伸縮性が異なりますので、貼付部位や可動性に合わせてお選びください。
- 過度な動きや負荷がかかると剥がれることがあります。
- 貼り直したり、発汗などにより皮膚が蒸れた場合は粘着力が低下し、はがれやすくなることがあります。
- 汚れたり、濡れたりした場合は、新しい製品に貼りかえてください。
- 長時間皮膚が蒸れた状態になると皮膚トラブルの原因となりますのでご注意ください。
- 皮膚の状態や器具類の材質によって、強く粘着して剥がしにくくなったり、剥離後の皮膚や器具類に粘着剤が残る場合があります。
- 本品の使用により、発疹、発赤、かゆみなどの皮膚症状が現れた場合には、使用を中止し、医師の診察を受けてください。

剥離時

- 皮膚への負担を軽くするため、テープを約180度に折り返し、皮膚が持ち上がらないように手で押さえながら、体毛の方向に逆らわずゆっくりと剥がしてください。

保管時

- 直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管してください。

※3Mのテープ製品は、細胞毒性、皮膚刺激性、皮膚感作性（アレルギー反応）が十分に低いことが確認された材料を使用しています。（全ての方にアレルギーが起きないという訳ではありません）

3M, Multipore, マルチポアは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
http://go.3M.com/medical-jp/

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2022. All Rights Reserved.
HPM-569-F(1222)SE

2022年12月発行

カスタマーコールセンター
製品のお問い合わせはナビダイヤルで
 0570-011-321
9:00~17:00/月~金（土日祝年末年始は除く）